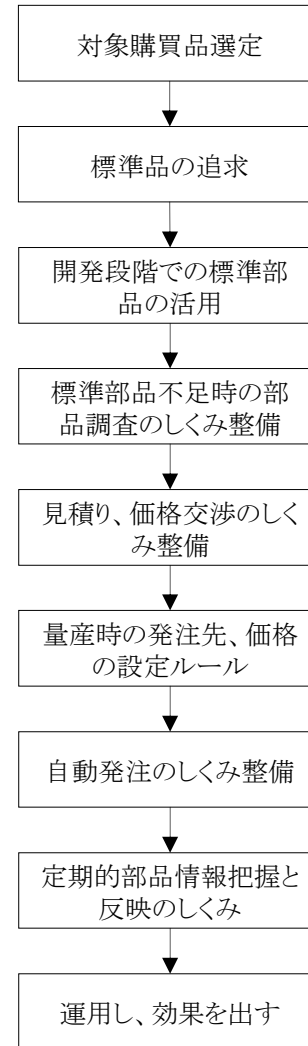


8・4 開発購買、量産購買

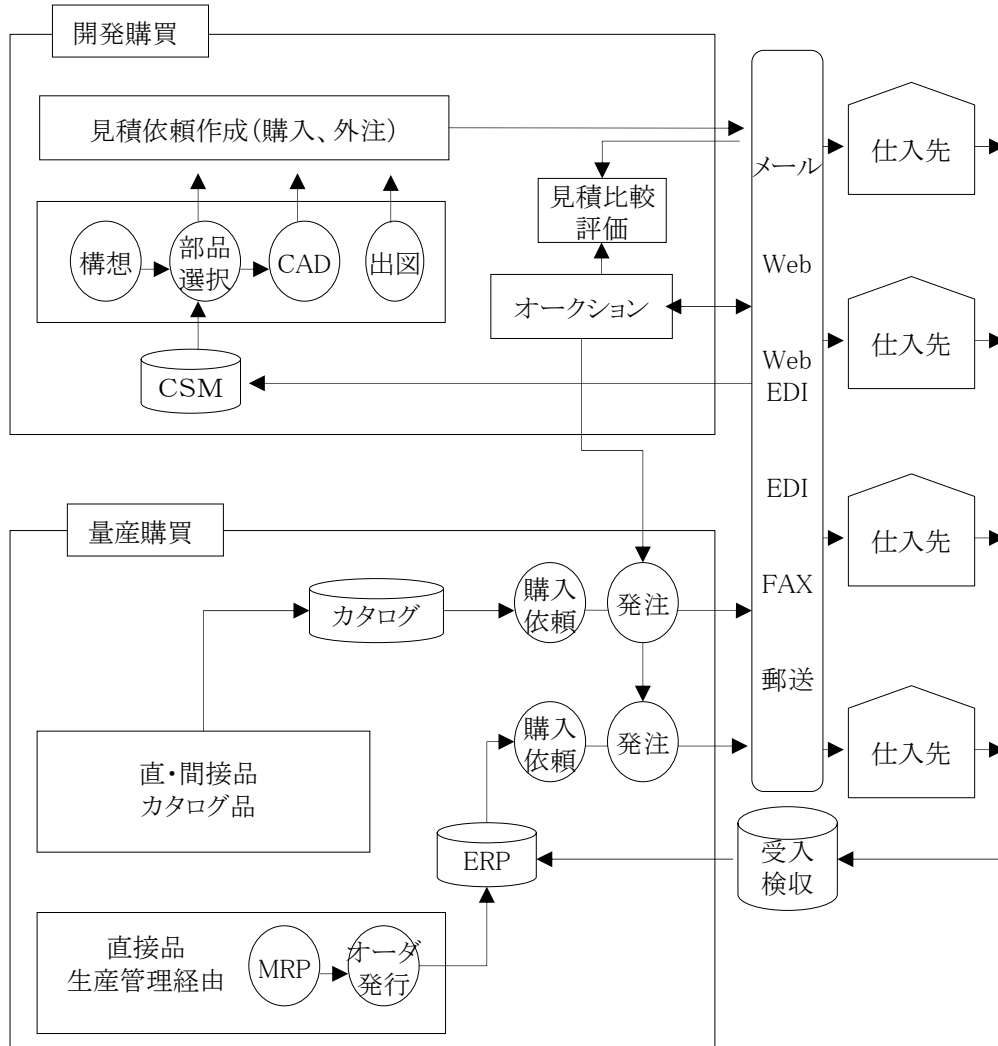
購買品は設計段階での部品仕様・調達先調査(開発購買)と、量産後の購買管理につながるようなしくみとして構築すべきです。開発段階で、部品の標準化による絞り込み、世界中の部品の検索、最適購買条件の設定、各種交渉が容易にできるような仕組みの整備が必要です。

開発段階で選択したメーカーを基本として量産時の購買へ移行することが多いが、その制約に限定されずに、継続的に購買市場の調査を行い、常に最適購買が可能にする必要があります。たとえば同じ部品のグローバルでの最低価格の調査のしくみと交渉、開発段階での標準部品、類似部品の整備と活用のしくみ等が必要で、特に電子部品は、類似性の高い部品が多くあり、技術部門が中心になって、統合した標準部品選定のしくみを整備する必要があります。さらに拠点毎、事業部毎に同じ部品を異なるサプライヤーから、異なる価格で手配していることも多く、部品統合による集中購買のしくみの検討が有効でしょう。また電子部品等では、生産中止等で入手制限もあり、開発時には部品寿命の若い部品を活用できるような管理も必要です。

展開ステップ



購買のしくみ例



CSM: Component Supplier Management